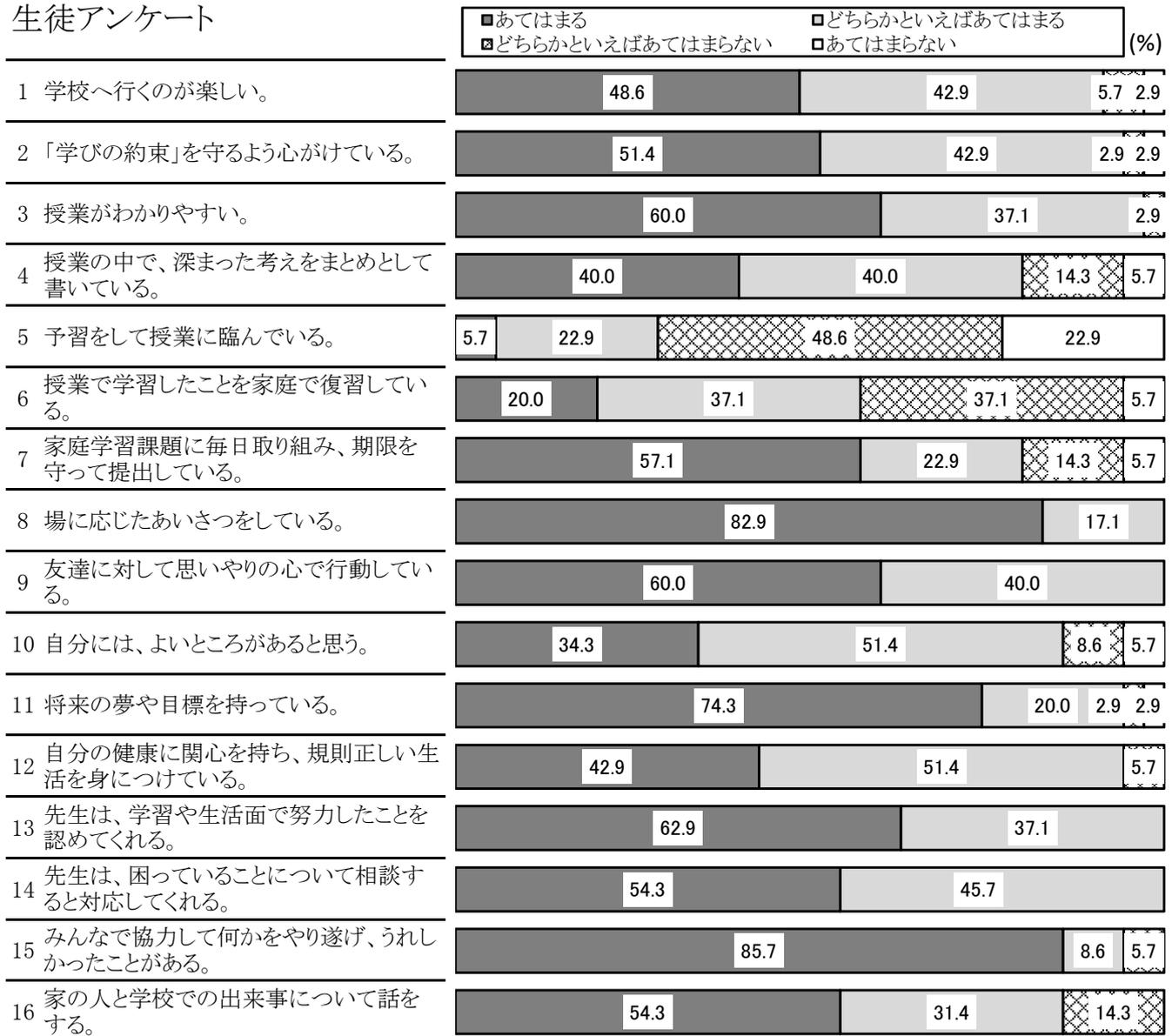


後期学校評価アンケートの結果について

向春の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、12月に実施しました学校評価アンケートの集計が完了しましたので、お知らせいたします。アンケート結果から、反省が必要な分野も確認することができました。今後この結果を踏まえ、教職員一同改善に努めていきたいと考えております。

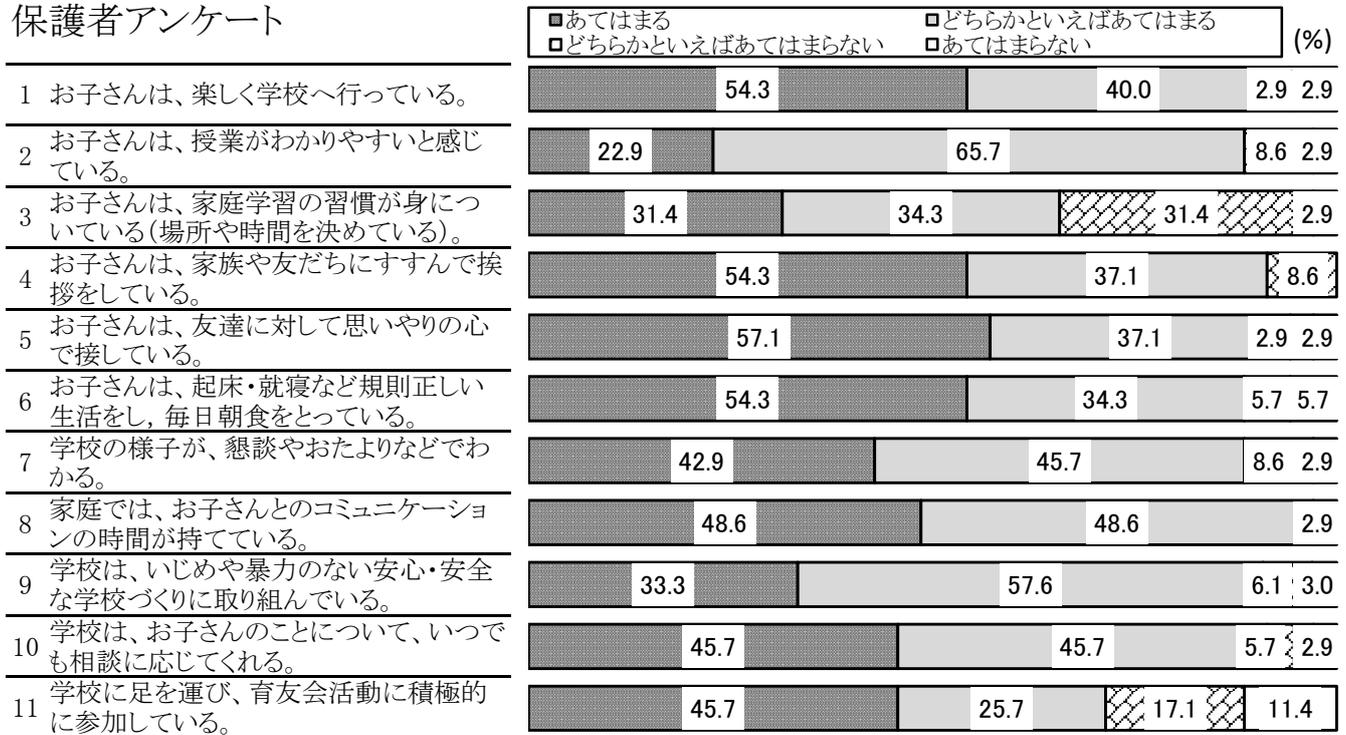
生徒アンケート



設問5「家庭での予習」は、1学期に比べ更に減少しました。2学期は学年の慣れや緊張感が減ることが要因の一つと考えられます。更に、設問6、7の「復習」や「家庭学習」までポイントが減少しました。授業では生徒の学力に合わせ、予習がなくても授業が理解できるように努めています。家庭では復習に重点を置き、授業で習ったことをその日のうちに振り返り、効果的に学力の定着を図ることが望ましいと考えています。毎日のアシスト学習等の宿題をやり遂げるよう、ご支援願います。

設問4「授業で深まった考えをまとめとして書いている」が減少しました。白嶺中学校の生徒には、自分で考えること、考えたことを表出すること、クラスメイトの意見を聞いて深めること、深まった考えを書くこと、が求められています。3学期には授業での書く機会を増やし、積極的に実現することを目指します。

保護者アンケート

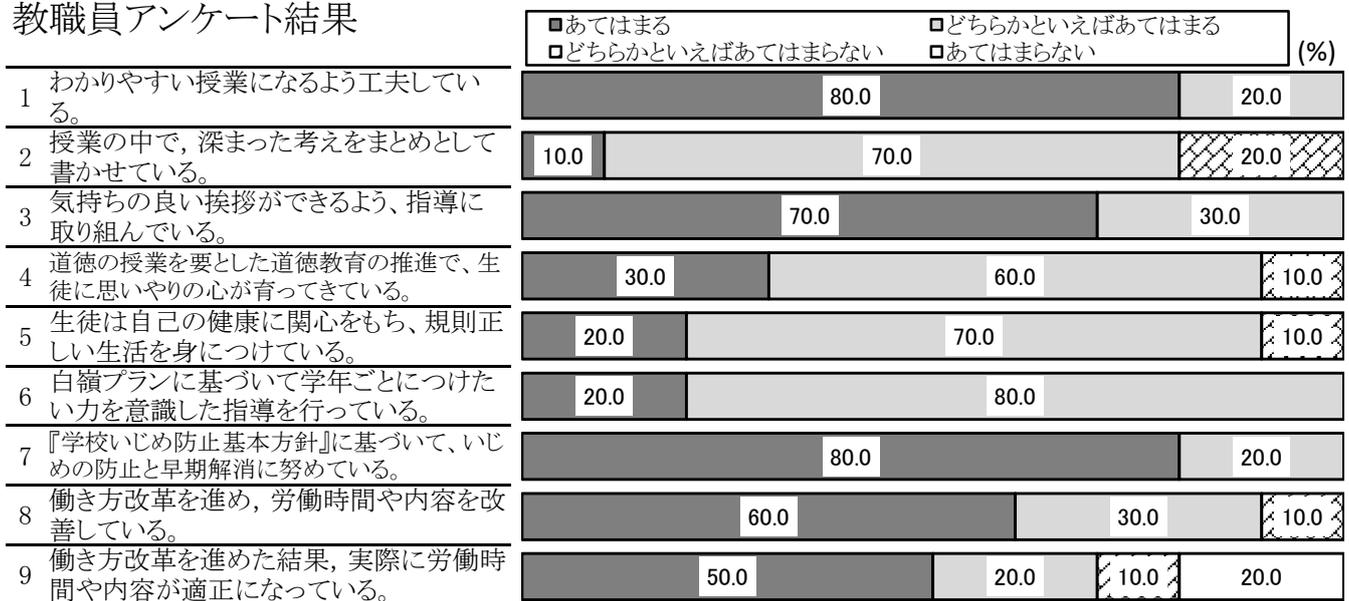


項目3「家庭学習の習慣」では減少が見られ、生徒アンケートと同様な傾向が現れています。アシスト学習を中心とした家庭学習の習慣化に取り組んでいきます。

項目9「安心・安全な学校づくり」では、前期は見られなかった否定的な回答が見られます。また、項目10「相談」では前期よりも向上しています。児童生徒や保護者も相談できる環境づくりや、情報の疎通がはかられることを目指します。

項目11「育友会活動への参加」では、3割弱が否定的な回答ですが、その中でも、白嶺祭等の活動に進んで取り組んでいただき、生徒の笑顔につながっていることに感謝しています。

教職員アンケート結果



項目2「深まった考えをまとめとして書く」では、教職員アンケートでも下がっています。今一度取組のねらいやその効果について再確認し、取り組んでいく必要があります。

項目5「規則正しい生活」のポイントが減少しました。体の不調で休む生徒が1学期よりも増えています。学校と家庭が共に見守り、自律的に行動できるよう手を差し伸べて、健全な成長を促していきましょう。

働き方改革については、日常的に改善を模索する雰囲気になっています。しかし、依然労働時間や内容に変化が表れていません。今後も改善に向けて継続していかねばなりません。